

日本図書館協会  
図書館基礎講座オンライン 2024

# 現代の図書館の動向

---

【印刷版資料】

新庄市立図書館 補佐/認定司書専門員 郷野目 香織

指定管理者 一般社団法人とらいあ 職員

(日本図書館協会認定司書第1124号)

2025年2月21日修正版



# 目次

---

- 1 自己紹介
- 2 **統計**から見る動向
- 3 **法律・制度**から見る動向
- 4 **情報**から見る動向
- 5 **研修・大会**から見る動向
- 6 終わりに

# 1-1 山形県新庄市の概要

- ▶ 新庄市の人口: 31,973人
- ▶ 最上地域の人口: 64,355人

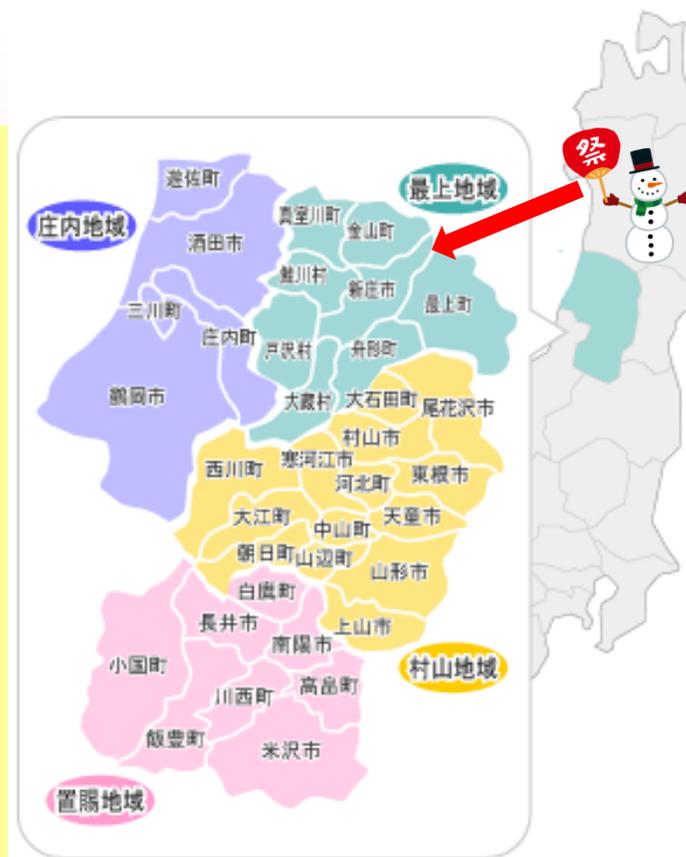
《山形県の人口: 1,008,775人》

【令和6年12月1日現在『山形県の人口と世帯数(推計)』より】

最上地域は山形県人口の約6.4%、限界集落もある過疎化地域。

1市4町3村からなる地域に、**公共図書館(独立館)**は1館。

**新庄市**は県北東の内陸部にある山間の田園・豪雪地帯、  
江戸時代には新庄藩主戸澤家が11代に渡って治めた**城下町**。



山間の田園・豪雪地帯。江戸時代から続く8月の「新庄まつり」は、ユネスコ無形文化遺産！2025年は開府400年記念。

# 山形県新庄市の概要

## 神輿渡御行列巡行コース・山車行列運行コース



**新庄まつり観覧席券**

観覧メイン会場  
新庄駅前ふれあい広場アピエス

令和6年7月1日/販売開始  
(平日)午前9時から午後4時まで電話受付  
予約専用電話(8/16まで)  
**0233-22-6570**

8/24日 宵まつり	S席中央 4,000円
	S席 3,500円
	A席 2,500円
8/25日 本まつり	S席 2,000円
	A席 無料

※席間には飲食販売を行います。当日の気象状況等の理由による中止および7月22日(日)午前9時以降のキャンセルは返金いたしません。本庄駅前ふれあい広場は観覧席です(小売販売場)。

電車	自動車	飛行機
山形新庄線 新庄駅 11:00 発 新庄駅前ふれあい広場アピエス 11:30 着 山形新庄線 新庄駅前ふれあい広場アピエス 11:30 着 新庄駅 12:00 発	新庄駅前ふれあい広場アピエス 〒996-0001 山形県新庄市 〒996-0001 山形県新庄市	山形空港 〒996-0001 山形県新庄市

**新庄まつり実行委員会**  
 〒996-0022 山形県新庄市  
 TEL: 0233-22-6655 FAX: 0233-22-6657  
 ホームページ: <http://www.matsuri.jp>

**新庄市商工観光課**  
 〒996-8501 山形県新庄市  
 TEL: 0233-22-2111 FAX: 0233-22-0969  
 ホームページ: <http://www.city.niigata.jp>

**新庄観光協会**  
 〒996-0024 山形県新庄市  
 TEL: 0233-22-2340 FAX: 0233-22-2309

ユネスコ無形文化遺産  
国重要無形民俗文化財

# 新庄まつり

日本が世界に誇る  
山・鉾・屋台行事

新庄まつりの山車行事  
2024年  
8月24日(土) 宵まつり  
8月25日(日) 本まつり  
8月26日(月) 後まつり



ユネスコ無形文化遺産  
日本が世界に誇る  
山・鉾・屋台行事

新庄まつりは幕府時代の宝暦6年(1756年)、藩主戸室正徳公が、昔年の大凶作でつちひれしている領民に活力と希望を持たせ、豊作を祈願するために、氏神である城内天満宮の「新祭」を領民あけて行ったのが起源とされています。

260余年の歴史を持つまつりの中でいくらか歳月を重ねても変わらなかったものは、人々のまつりにかける情熱です。豪華鉾陣を誇る山車行列における、古くゆかしい神輿渡御行列、新庄城址で踊られる風流な鹿子踊、藩政時代を想起させる歴史絵巻が繰り広げられる新庄まつりは、この地に住む人々の心の風土に刻み込まれ、これからも未来に伝えられていきます。

弊社にて華やかな3日間、観覧の皆さまを歓迎し、新庄の夏はまつりの興隆と熱気でフィナーレを迎えます。

エチオピアで行われたユネスコ国際委員会において、平成28年12月1日に新庄まつりの山車行事は山形県内のユネスコ無形文化遺産への登録が実施されました。

## 幻想と興奮、現代に甦る歴史絵巻

- 新庄まつり山車**  
新庄まつりでは山車と書いて「やたい」と呼んでいます。町屋若造といひ細織を作り、毎年町内単位で山車を作り、素材は能、歌舞伎や歴史物語・伝説などから選び、等身大の人形を中心に、山・花・滝などを表します。  
運行する山車は毎年作り変えるのが特徴であり、新庄駅前ふさぶと歴史センターに展示される山車以外はすべてに解体されるため、その年の山車はまつり期間中にしか見られません。
- 新庄まつり囃子**  
山車の後方には囃子若造が付き、大太鼓・小太鼓・笛・三味線で構成されます。4曲ある曲目のうち一般に演奏されるのは、悠長で哀調のある宿置(すくわたり)とアンボの速い勇仕な権置(かつこ)です。また囃子の演奏技術はそれぞれ地域の伝承のため、それぞれ少しずつ異なる囃子で演奏されます。
- 神輿渡御行列**  
天満宮の御神体を市街の上手から下手へ町々を運行させ、人々の平安を願ってまわります。新庄城址を出発した総勢200名の行列は、参拝者が叫ぶ「下におろろ、下におろろ」の声のもと、市内を

## 新庄まつり行事

- 宵まつり**  
戸澤神社例大祭 午前10時 戸澤神社  
奉納 新庄囃子 午前10時 天満宮・護国神社  
新庄囃子合同演奏会 午前10時30分~11時 新庄駅前ふれあい広場アピエス  
灯人式 午後6時~6時20分 中央通り交差点  
宵まつり山車行列(全20台) 午後6時30分~6時50分 中央通り~新庄駅前ふれあい広場アピエス
  - 本まつり**  
天満宮例大祭 午前7時 天満宮  
まつり行列出発式 午前8時30分 天満宮本宮  
神輿渡御行列 午前9時 新庄駅前ふれあい広場アピエス  
本まつり山車行列(全20台) 午前10時 老人福祉センター前出発~10時40分 新庄駅前ふれあい広場アピエス  
本まつり山車行列(全20台) 午後3時30分 南本町十字路
  - 後まつり**  
護国神社例大祭 午前9時 護国神社  
小若連囃子演奏会 午前10時30分~11時30分 新庄駅前ふれあい広場アピエス  
奉納 柔道大会 午前10時30分~午後1時 新庄駅前ふれあい広場アピエス  
奉納 弓道大会 午前10時30分~午後4時 新庄駅前ふれあい広場アピエス  
奉納 鹿子踊 午後1時~11時 新庄駅前ふれあい広場アピエス  
飾り山車(全20台) 午後1時~午後4時 新庄駅前ふれあい広場アピエス  
街中鹿子踊 午後1時 南本町十字路  
手締式 午後3時30分 南本町十字路  
またたかカブオケサイティングショー 午後5時30分~7時30分 新庄駅前ふれあい広場アピエス
- ※行事日程は変更になる場合があります。

# 1-1 山形県新庄市の概要

## ●新庄市

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp/>

## ●新庄開府400年

<https://tozawa400.com/>

## ●新庄まつり

<https://shinjo-matsuri.jp/>

## ●観光ガイドブック「にゃー」(新庄弁:語尾に「にゃ」等がつく)

<https://www.city.shinjo.yamagata.jp/k001/090/020/20230411163932.html>



# 1-2 新庄市立図書館の概要

---

《1906年に開かれた明倫文庫の  
流れを汲み、118年の歴史あり》

【委託から指定管理へ】

- ・2007年度～業務委託2年
- ・2009年度～指定管理4期4年目
- ・(一社)とらいあ職員数:10名  
館長含む司書7名、チーフマネージャー、  
施設防犯管理兼運転士2名

【2023年度の利用状況】

- ・蔵書冊数:145,784冊
  - 一般書 99,298冊 郷土 15,515冊
  - 児童書 28,701冊 雑誌 2,270冊
- ・貸出総数:116,101冊(市民一人当たり3.56冊)
- ・年間来館者数:70,647人(一日平均235.5人)
- ・累計登録者数:個人 32,311 人  
団体 419 人

## 1-2 新庄市立図書館の概要

---



新庄市>公式イメージキャラクターかむてん(新庄市出身漫画家・富樫義博氏デザイン)

<https://www.city.shinjo.yamagata.jp/li/040/010/index.html>



## 1-2 新庄市立図書館の概要

新庄市立図書館マスコットキャラクター「かやの実ちゃん」



新庄市>市立図書館のかやの木(市指定天然記念物)

<https://www.city.shinjo.yamagata.jp/k001/020/010/060/020/20150225141816.html>

# 1-3 自己紹介

## 《勤務歴など》

- ・2002 (H14) 年4月～ 新庄市立図書館日々雇用職員
- ・2004 (H16) 年9月 玉川大学通信教育課程で司書資格取得  
    《2006 (H18) 年9月 同大同部で学士(教育)学位取得》
- ・2007 (H19) 年4月～ 市民ネットワーク図書館サポート・  
    とらいあ理事兼職員  
    (2020年5月に理事退任)  
    《2010年9月より「一般社団法人とらいあ」へ》
- ・2012 (H24) 年4月～ 館長補佐職  
    (~2019.3、2022.4～兼務)
- ・2019 (H31) 年4月～ 現職《認定司書専門員》

## 《研修歴など》

- ・2009年度 図書館地区別研修(北海道・東北)修了
- ・2012年度 日図協中堅職員ステップアップ研修(1)修了
- ・2015年度 日図協中堅職員ステップアップ研修(2)修了
- ・2017 (H29) 年4月～ 日図協認定司書第1124号  
    (第7期・10年間有効)
- ・日図協代議員《山形県・個人会員選出》  
    【一期目】2018 (H30) 年4月～2022 (R4) 年3月、  
    【二期目】2023 (R5) 年2月～
- ・2022年度 第22回ビジネス・ライブラリアン講習会修了

# 1-3 自己紹介

## 《勤務歴など》

- ・2002 (H14) 年4月～ 新庄市立図書館日々雇用職員
- ・2004 (H16) 年9月 玉川大学通信教育課程で司書資格取得  
    《2006 (H18) 年9月 同大同部で学士(教育)学位取得》
- ・2007 (H19) 年4月～ 市民ネットワーク図書館サポート・  
    とらいあ理事兼職員  
    (2020年5月に理事退任)  
    《2010年9月より「一般社団法人とらいあ」へ》
- ・2012 (H24) 年4月～ 館長補佐職  
    (～2019.3、2022.4～兼務)
- ・2019 (H31) 年4月～ 現職《認定司書専門員》

## 《事例発表》

- ・2017年度 全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)／北日本図書館連盟研究協議会で、『「マルシェ 本活(ほんかつ)プロジェクト」青空の下で本を楽しもう～本と人をつなげる 出前図書館～』を、高橋一枝館長と共同発表

## 《ゲスト講話》

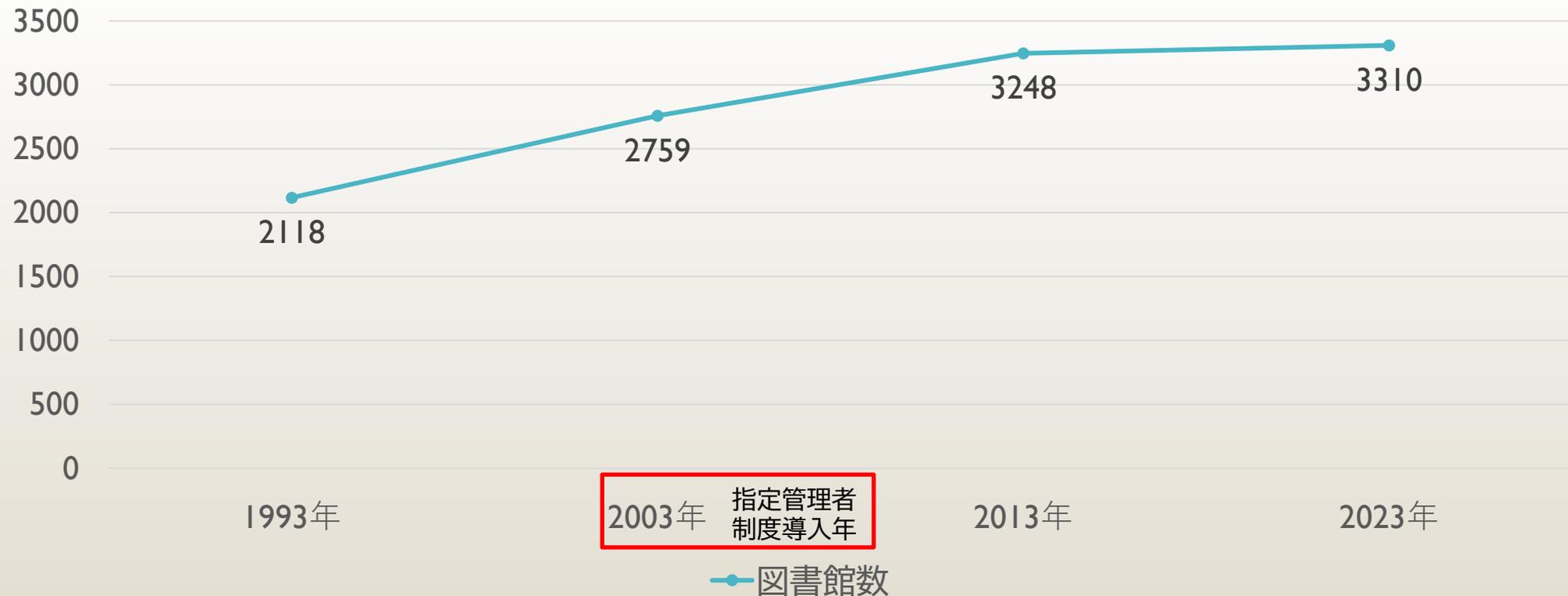
- ・2018～2023年度 山形県立米沢女子短期大学の総合教養講座(年1回)

## 《執筆》

- ・『認定司書論文のたまてばこ～図書館論文がスラスラ書ける!～』  
    砂生絵里奈//編著,郵研社,2019年  
    「第2章 ぴかぴか認定司書の論文体験談 8人からのエール!」  
    pp.38-44「地域の宝×まちづくり×公共図書館について考えた7ヶ月」
- ・『司書が書く図書館員のおすすめ本』日図協図書紹介事業委員会//編,日図協,2021年  
    P.58書評(※初出『図書館雑誌』2018年2月号「図書館員のおすすめ本」)

## 2-1 図書館数から見る動向

公共図書館経年変化①(日図協HP「日本の図書館統計」の数値でグラフ作成)



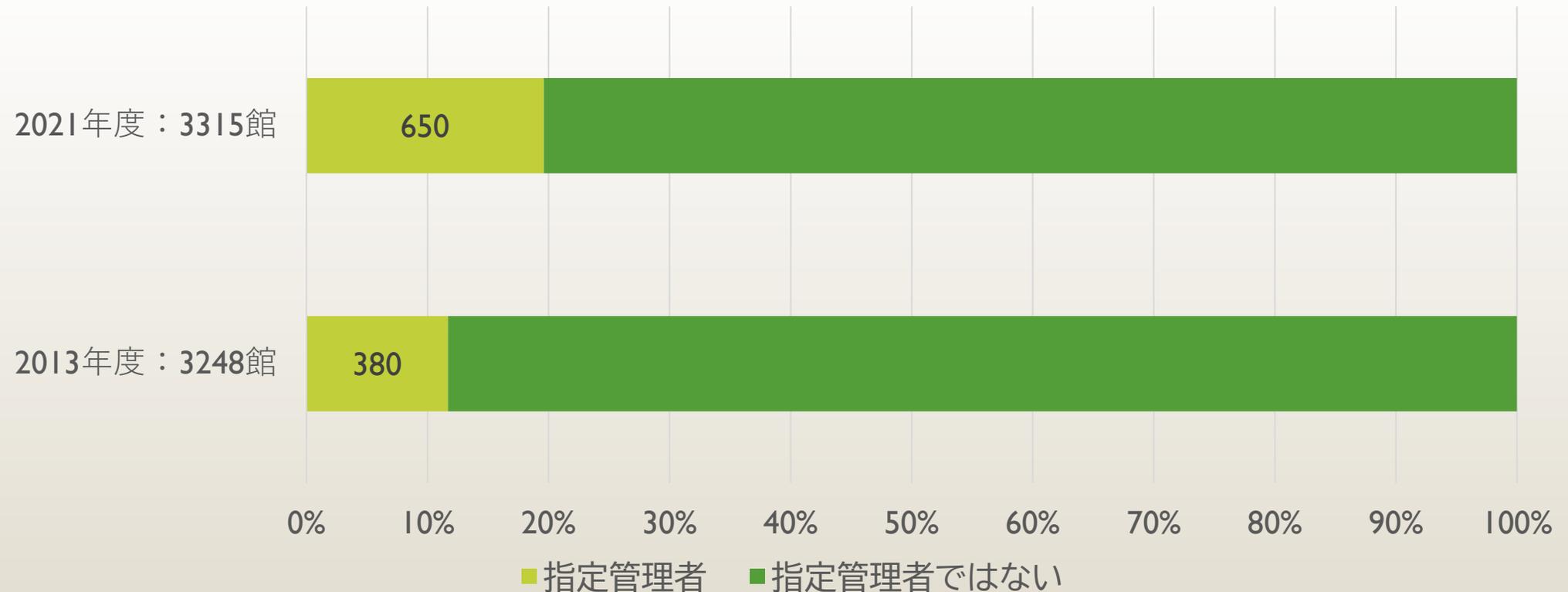
参考資料:

「総務省 公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針の改定について(令和5年10月10日)」

『カレントアウェアネス NO.354 (2022.12)』より「公共施設等総合管理計画と公立図書館の施設整備」松本直樹

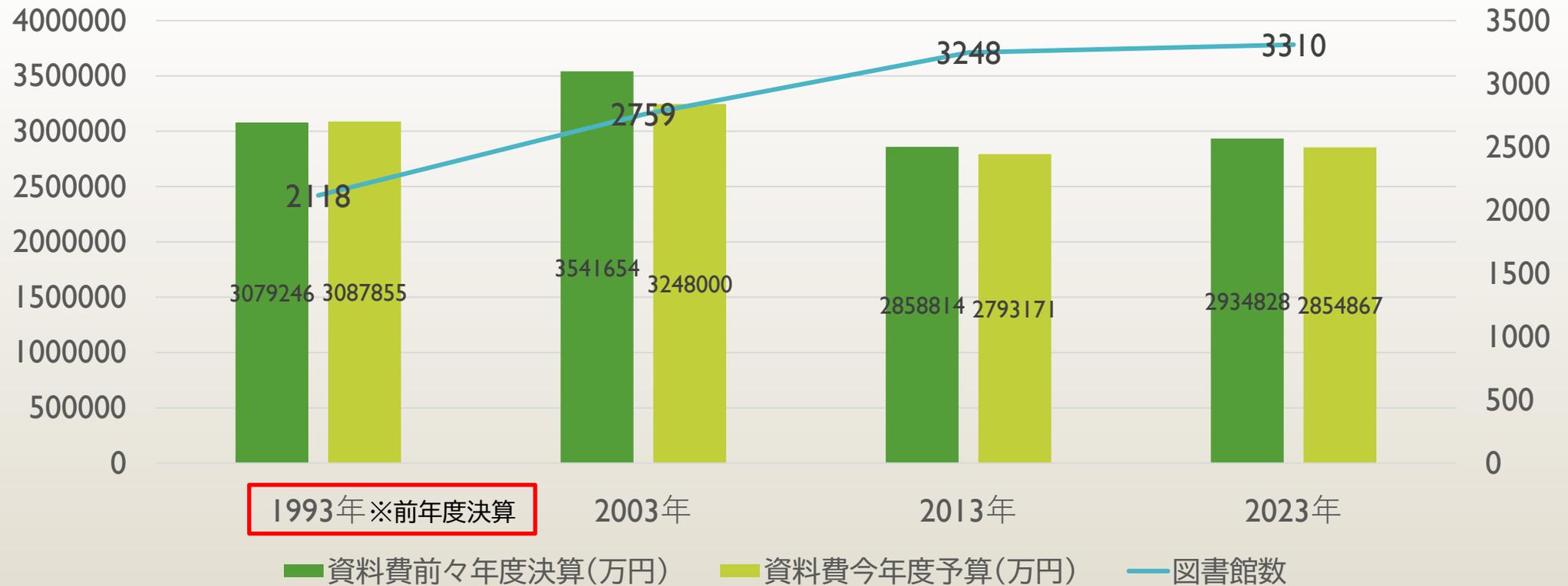
## 2-1 図書館数から見る動向

【参考】市区町村立図書館の指定管理者導入数(※45都道府県立図書館からの回答よりグラフ化)



## 2-2 資料費から見る動向

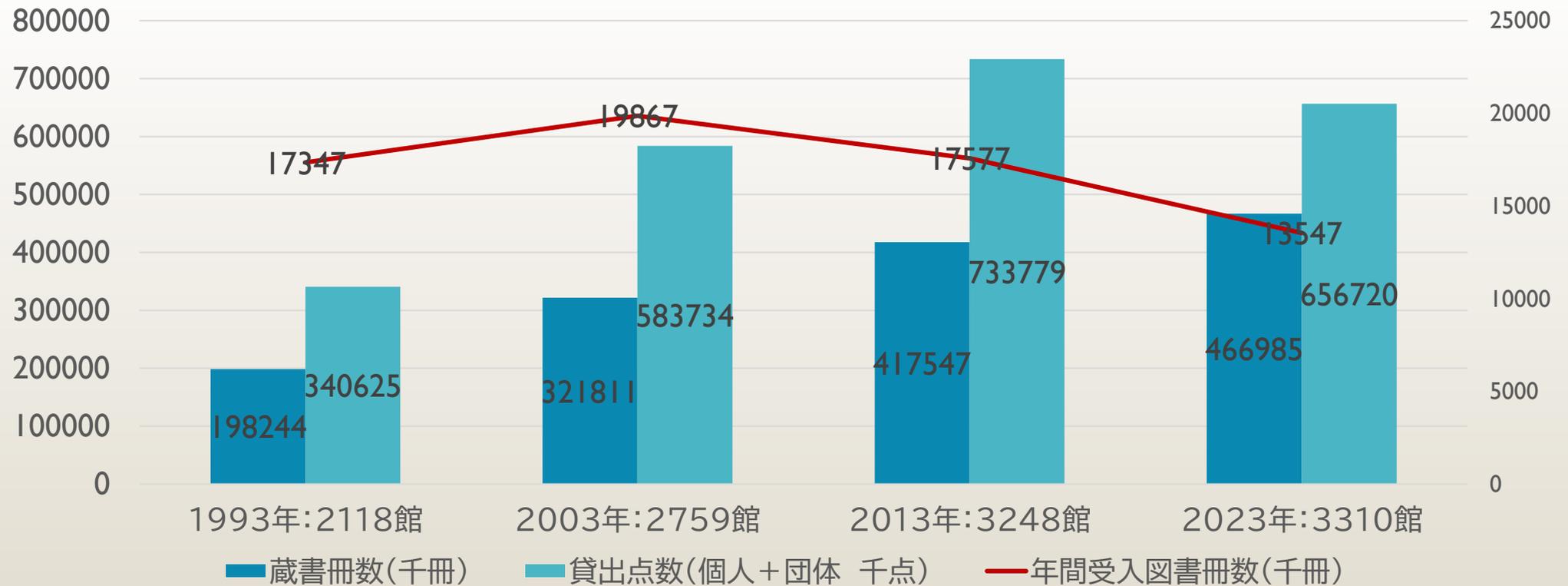
公共図書館経年変化②(日図協HP「日本の図書館統計」の数値でグラフ作成)



参考資料:「令和6(2024)年度予算における図書館関係地方交付税について(要望) 日本図書館協会」

## 2-3 冊数から見る動向

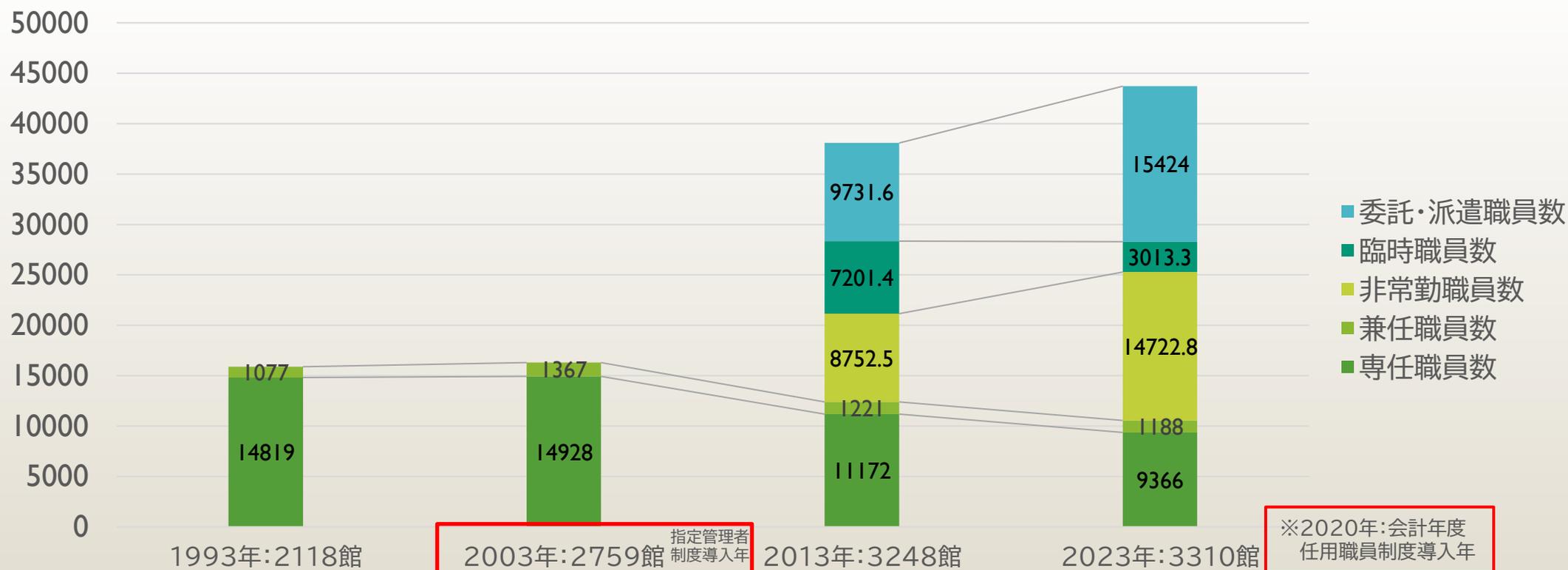
公共図書館経年変化③(日図協HP「日本の図書館統計」の数値でグラフ作成)



参考資料:「電流協『電子図書館』プレスリリース 2020年~2023年 (一社)電子出版制作・流通協議会」

## 2-4 職員数から見る動向

公共図書館経年変化④(日図協HP「日本の図書館統計」の数値でグラフ作成)



参考資料: 「地方公務員の会計年度任用職員等の臨時・非常勤職員に関する調査結果(令和2年4月1日現在) 総務省」

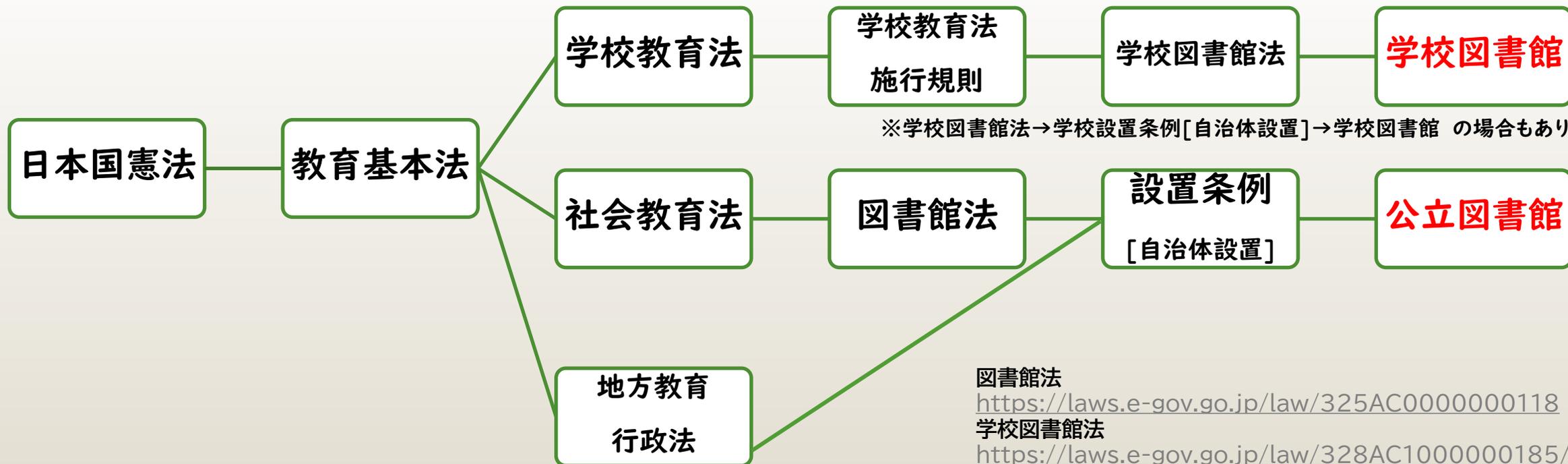
## 2-5 引用・出典・参考資料

---

- 日図協>日本の図書館統計 <https://www.jla.or.jp/ibrary/statistics/tabid/94/Default.aspx>
- 総務省>「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針の改定について(令和5年10月10日)」  
<https://www.soumu.go.jp/iken/koushinhiyou.html>
- 『カレントアウェアネス NO.354 (2022.12)』より「公共施設等総合管理計画と公立図書館の施設整備」松本直樹  
<https://current.ndl.go.jp/ca2034>
- 日図協図書館政策企画委員会>図書館における指定管理者制度の導入等の調査について2022(報告)  
<https://www.jla.or.jp/committees/seisaku/tabid/279/Default.aspx>
- 日図協>令和6(2024)年度予算における図書館関係地方交付税について(要望)  
<https://www.jla.or.jp/demand/tabid/78/Default.aspx?itemid=7130>
- (一社)電子出版制作・流通協議会>電流協『電子図書館』プレスリリース 2020年~2023年  
[https://aebs.or.jp/Electronic\\_library\\_introduction\\_record.html](https://aebs.or.jp/Electronic_library_introduction_record.html)
- 総務省>地方公務員の会計年度任用職員等の臨時・非常勤職員に関する調査結果(令和2年4月1日現在)  
[https://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01gyosei11\\_02000153.html](https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei11_02000153.html)

# 3-1 法律・制度から見る動向

『図書館概論 五訂版』P.94「図書館法規と行政,施策 option H 図書館関係法体系図」より一部抜粋して作成



参考資料：『図書館概論 五訂版』塩見昇//編著,日本図書館協会,2018年

## 3-2 読書バリアフリー法から見る動向

---

### ▶ 読書バリアフリー法

『誰もが読書ができる社会を目指して～読書のカチを選べる「読書バリアフリー法」～』より

※文部科学省と厚生労働省が連携して作成した啓発リーフレット

▶ 2019 (R元) 年6月に成立

▶ 正式名称は「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」

▶ 障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律。さまざまな障害のある方が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるようにすることを目指している。

▶▶ 『図書館利用に障害のある人々へのサービス[上巻]』P.20より

「障害は障害者にあるのではなく、誰もが利用できるようになっていない図書館サービスこそが問題」

# 3-2 読書バリアフリー法から見る動向

図書館で学ぶ はじめての

# 手話

参加費 無料

基本的な手話を学びます。

楽しく学べますので、興味のある方はぜひご参加ください！

**期間** 令和6年9月6日(金)～全10回講座

**時間** 13:30～15:30

**対象** 手話に興味のある方・手話で読み聞かせをしてみたい方

**定員** 10名程度

**場所** 新庄市立図書館 2階第一講座室

**講師** 新庄市聴覚障害者協会会員のみなさま

【協力】山形県手話通訳問題研究会 最北班

申込締切 8/30 (金)

【お申込み・お問い合わせ】

申込フォームからもお申込みできます↓

新庄市立図書館 TEL 22-2189(月曜日休館)

〒996-0071 新庄市小田島町4-21 FAX 23-6183

メール library@ts.city.shinjo.yamagata.jp



講習内容			
	日時		内容
第1回	R6.9/6(金)	知る	開講式 聴覚障がい者とは何か、手話通訳の仕事とは顔の表情の説明、あいさつ
第2回	9/20(金)	伝える	「自己紹介1」 ぼく、名前、学校(小中高)、会社、年など
第3回	10/4(金)	伝える	「自己紹介2」 お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さんなど
第4回	10/18(金)	示す	「数、指文字」1～10、20、百、千、万円、あか、さなど
第5回	11/1(金)	表す	「気持ちを表してみましょう1」 よい、わるい、うれしい、かなしい、わかるなど
第6回	11/15(金)	表す	「気持ちを表してみましょう2」 日時、交通など
第7回	12/6(金)	話す	「会話1」 質問、答え、あなた、私の名前は何かなど
第8回	12/20(金)	話す	「会話2」 質問、答え、家はどこですか、病気は何かなど
第9回	R7.3(予定)	まとめ	第4回新庄手話まつり参加
第10回	3/21(金)	まとめ	手話で絵本の読み聞かせ・開講式(修了証授与)

### 【ご参加に際しての注意事項】

- ◇講習は第1回目から第10回目までの連続講座となっておりますので、続けてご参加ください。
- ◇イベントの様子を撮影させていただくことがあります。画像は図書館フェイスブック等に利用することがありますのでご了承ください。
- ◇図書館駐車場が満車の場合は、歴史センター駐車場をご利用ください。



新庄市立図書館「読書バリアフリーに関する事業紹介展示」(※現在は展示終了しています)

# 3-2 読書バリアフリー法から見る動向

図書館で学ぶ はじめての

## 手話

参加費 無料

基本的な手話を学びます。  
楽しく学べますので、興味のある方はぜひご参加ください!

**期間** 令和6年9月6日(金)～全10回講座  
**時間** 13:30～15:30  
**対象** 手話に興味のある方・手話で読み聞かせをしてみたい方  
**定員** 10名程度  
**場所** 新庄市立図書館 2階第一講座室  
**講師** 新庄市聴覚障害者協会会員のみなさま  
【協力】山形県手話通訳問題研究会 最北班

申込締切 8/30 (金)  
【お申込み・お問い合わせ】  
新庄市立図書館 TEL 22-2189(月曜日休館)  
〒996-0071 新庄市小田島町 4-21 FAX 23-6183  
メール library@ls.city.shinjo.yamagata.jp

申込フォームからお申込みできます↓



山形県総合社会福祉基金(令和6年度紅花ふれあい基金)助成金事業

## 絵本新庄まつり 手話&読み聞かせ体験

事前申込必要 参加費おとな 1人500円(資料代)

新庄まつりが絵本になりました!!  
手話&読み聞かせ動画つきのバリアフリー絵本です。

### 2025年1月19日(日)

午前 9:30-11:30

**場所** 雪の里情報館 雪国文化ホール  
**対象** 30名程度 小学生とその保護者  
手話や読み聞かせなどに興味のある方  
**内容** 『絵本新庄まつり』の読み聞かせを手話で体験することができます。親子で楽しく手話&読み聞かせにチャレンジしてみませんか。

事前申込・お問い合わせは図書館まで  
E-mail library@ls.city.shinjo.yamagata.jp Faxのお申込みは裏面(23-6183)へ  
お申込みフォームはこちら↓

絵本製作: 絵本新庄まつり制作委員会  
手話指導協力: 新庄市聴覚障害者協会・山形県手話通訳問題研究会最北班  
協力: 新庄市読み聞かせ連絡協議会  
主催事務局: 一般社団法人とらいあ(新庄市立図書館)



新庄市立図書館「読書バリアフリーに関する事業紹介展示」(※現在は展示終了しています)

『絵本新庄まつり』手話付き読み聞かせ動画 URL <https://www.youtube.com/watch?v=xCJDIW8jDNO>

## 3-2 読書バリアフリー法から見る動向



### 《りんごの棚について》

#### 🍏 りんごプロジェクト

[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/ringoprojectbook?fbclid=IwAR2r3DVB Rn5mXop26HvG4avb\\_tkiPnQiFwk62D0vzYjKod\\_lKAjiq7WXiLuU](https://peraichi.com/landing_pages/view/ringoprojectbook?fbclid=IwAR2r3DVB Rn5mXop26HvG4avb_tkiPnQiFwk62D0vzYjKod_lKAjiq7WXiLuU)

#### 🍏 フレーベル館出版サイト>『りんごの棚と読書バリアフリー 1~3』

(りんごプロジェクト//監修,フレーベル館2024~2025年)

<https://book.froebel-kan.co.jp/book/detail/9784577053126>

#### 🍏 DINF>「りんごの棚」物語 特別なニーズのある子供たちを公共図書館サービスの対象とするための一手段

[https://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/ifla/jenny\\_nilsson/app elhyllan.html](https://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/ifla/jenny_nilsson/app elhyllan.html)



## 3-2 読書バリアフリー法から見る動向

---

- ▶ マラケシュ条約…2013年6月 WIPO (世界知的所有権機関) が採択、2018年10月 日本でも批准
  - ▶▶ プリント・ディスアビリティ (視覚障害者等) が抱える「本の飢餓」解消のためのアクセシブルな複製物の国際交換を行える著作権条約
- ▶ 読書バリアフリー法…2019年6月 制定、施行
  - ▶▶ 障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律
- ▶ 改正障害者差別解消法の施行…2021年5月 改正、2024年4月 施行
  - ▶▶ 行政機関等・事業者ともに「不当な差別的取扱いの禁止」「合理的配慮の提供の義務化」「環境の整備の努力義務」

## 3-2 読書バリアフリー法から見る動向

---

### ▶ マラケシュ条約

●文化庁 <https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/marrakesh/>

●外務省 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/ila/et/page25\\_001279.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ila/et/page25_001279.html)

### ▶ 読書バリアフリー法

●文部科学省 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/gakusyushien/1421441.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/1421441.htm)

●日図協>地方公共団体において「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画」を策定するための指針

<https://www.jla.or.jp/library/gudeline//tabid/1016/Default.aspx>

### ▶ 改正障害者差別解消法の施行

●障害者の差別解消に向けた理解促進ポータルサイト

<https://shougai-sha-sabetukaishou.go.jp/kyoseisyakai/syogaisyasabetukaisyoho/>

●内閣府リーフレット [https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai\\_leaflet-r05.html](https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai_leaflet-r05.html)

## 3-2 読書バリアフリー法から見る動向

---

- ▶ 市川沙央氏著作『ハンチバック』による問題提起 (文藝春秋, 2023年 第169回芥川賞受賞作)
  - ▶▶ 2023年11月「日本ペンクラブ言論表現委員会企画 対談・シンポジウム 読書バリアフリーとは何かー読書を取り巻く『壁』を壊すために」開催
    - 第1部で日本ペンクラブ会長・桐野夏生氏と市川氏が対談
  - ▶▶ 2024年4月「読書バリアフリーに関する三団体共同声明」発表
    - 公益社団法人日本文藝家協会・一般社団法人日本推理作家協会・一般社団法人日本ペンクラブ
  - ▶▶ 『図書館の学校 2024年春号』(公益財団法人図書館振興財団機関誌)より
    - 「特集2 読書バリアフリー法について考える」PART2は市川氏へのインタビュー
    - PART1~3の記事等を、電子書籍(リフロー型=音声読み上げ機能対応)でも公開
  - ▶▶ 書籍『次世代に向けた電子図書館の可能性』『アクセシブルブック はじめのいっぽ 見る本、聞く本、触る本』等
  - 雑誌『学校図書館 2024年9月号』『みんなの図書館 2024年10月号』

## 3-2 読書バリアフリー法から見る動向

---

- ▶ 市川沙央氏著作『ハンチバック』による問題提起 (文藝春秋, 2023年 第169回芥川賞受賞作)
  - ▶▶ 2023年11月 「日本ペンクラブ言論表現委員会企画 対談・シンポジウム 読書バリアフリーとは何かー読書を取り巻く『壁』を壊すために」
    - 日本ペンクラブ>イベント・活動報告 <https://japanpen.or.jp/post-3377/>
  - ▶▶ 2024年4月 「読書バリアフリーに関する三団体共同声明」発表
    - 日本ペンクラブ>声明 <https://japanpen.or.jp/post-3610/>
- ▶▶ 『図書館の学校 2024年春号』(公益財団法人図書館振興財団機関誌)より  
「特集2 読書バリアフリー法について考える」
  - 公益財団法人図書館振興財団>『図書館の学校 2024年春号』  
<https://toshokan.or.jp/bulletin/show/3068>

## 3-2 引用・出典・参考資料

---

- 『図書館利用に障害のある人々へのサービス[上巻] 利用者・資料・サービス編 補訂版』
- 『図書館利用に障害のある人々へのサービス[下巻] 先進事例・制度・法規編 補訂版』日図協障害者サービス委員会//編,日図協,2021年
- 『りんごの棚と読書バリアフリー 1~3』りんごプロジェクト//監修,フレーベル館,2024~2025年
- 『読書バリアフリーの世界 大活字本と電子書籍の普及と活用』野口武悟//著,三和書籍,2023年
- 『だれもが「本を読める」社会へ 読書バリアフリー① 点字図書、大活字本、布の絵本 ほか』
- 『だれもが「本を読める」社会へ 読書バリアフリー② LLブック、オーディオブック、電子書籍 ほか』白坂洋一//監修,汐文社,2024年
- 『アクセシブルブック はじめのいっぽ 見る本、聞く本、触る本』宮田和樹・馬場千枝・萬谷ひとみ//著,ボイジャー,2024年
- 『次世代に向けた電子図書館の可能性』湯浅俊彦//著,メディアパル,2024年
- 『図書館の学校 2024年春号』公益財団法人図書館振興財団,2024年
- 『学校図書館 2024年9月号』公益財団法人全国学校図書館協議会,2024年
- 『みんなの図書館 2024年10月号』図書館問題研究会//編集,教育史料出版会,2024年
- 『読書バリアフリー 見つけよう!自分にあった読書のカタチ』国土社,2023年
- 『2022年度(令和4年度)公立図書館における読書バリアフリーに関する報告書』全国公共図書館協議会,2023(令和5)年5月

## 3-3 マイナンバーカードから見る動向

---

### ▶健康保険証の新規発行終了に伴うマイナ保険証への移行

▶▶ 2024年11月マイナカードの健康保険証利用登録件数 78,743,686件

●厚生労働省 [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_08277.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html)

●総務省 [https://www.soumu.go.jp/kojinbango\\_card/03.html#card](https://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/03.html#card)

●総務省統計局 <https://www.stat.go.jp/data/jinsui/new.html>

### ▶マイナカードを図書館カード利用に活用する事例数①

▶▶ 2023年7月 マイキープラットフォームの導入自治体数は**79**

●デジタル庁 <https://digiden-service-catalog.digital.go.jp/commonbase/7564/>

## 3-3 マイナンバーカードから見る動向

---

### ▶ マイナカードを図書館カード利用に活用する事例数②

#### ▶▶ 『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2023 誰もが利用できる読書環境をめざして』

(一般社団法人電子出版制作・流通協議会//監修,植村八潮・野口武悟・長谷川智信//編著,樹書房,2024年)より

公共図書館の電子図書館・電子書籍サービス調査(2023年7~8月依頼)

「図書館利用者カードへの『マイナンバーカード』の利用」回答721館中、

【**利用している** 83 / 検討中(現在は利用していない) 104 / 利用・利用検討していない 528 / 無回答 6】

#### ▶▶ 2024年4月 図書館におけるマイナカードの活用事例は**103件**

【活用法式:電子証明書 77 / カードAP(空き領域搭載) 9 / 磁気ストライプ 1 / その他 16】

● デジタル庁 <https://www.digital.go.jp/policies/mynumber/local-government/mynumbercard-user-list#library>

## 3-3 マイナンバーカードから見る動向

---

### ▶ マイナカードを図書館サービスに利用する事例

①立山図書館(富山県立山町)「予約本貸出ロッカー」を2024年4月導入

●カレントアウェアネス-R(2024年5月9日付)

<https://current.ndl.go.jp/car/219611>

②奈良市立図書館(奈良県)「図書受取ロッカー」を2024年10月運用開始

●カレントアウェアネス-R(2024年10月9日付)

<https://current.ndl.go.jp/car/227903>

※①②ともに内田洋行が導入。図書館利用カード、または、**ひも付けされたマイナカード**で利用可能

●株式会社内田洋行 プレスリリース <https://www.uchida.co.jp/company/news/press/index.html>

## 3-3 マイナンバーカードから見る動向

---

### ▶ マイナカードの電子図書館サービス利用への懸念

#### ▶▶ 日図協図書館の自由委員会『図書館の自由第121号』（2023年11月）より

「マイナンバーカードを活用した電子図書館サービス」で3自治体の導入事例を紹介、

「**図書館の自由**」の問題として注視する傾向

<https://www.jla.or.jp/committees/jiyu//tabid/638/Default.aspx#mokuji121>

#### ▶▶ 図書館問題研究会が声明「電子書籍サービス（電子図書館）の利用について、**マイナンバーカードの取得を条件とすることに反対**します」を公表（2023年3月4日付）

●カレントアウェアネス-R（2024年3月13日付） <https://current.ndl.go.jp/car/211345>

## 4-1 日図協『図書館雑誌』から見る動向

号数	2024年分の特集タイトル
1月	トピックスで追う図書館とその周辺
2月	令和5年度(第109回)全国図書館大会岩手大会ハイライト
3月	書店×図書館の可能性
4月	移動図書館のいま
5月	図書館は生成AIをどのように活用できるか
6月	座談会 中堅図書館員しごとを語る—あらたに図書館員になった方たちへ
7月	図書館の話題アラカルト
8月	図書館における「ゲーム」
9月	まちライブラリーの今
10月	令和6年度(第110回)全国図書館大会長崎大会への招待
11月	シン・デジタル・ライブラリー —オープンサイエンス時代の大学図書館
12月	つなぎ手としての学校図書館—情報活用能力育成のAspect

# 4-1 引用・出典・参考資料

---

- 日図協>JLA出版物検索【『図書館雑誌』2024年分の書誌詳細】 <https://www.jla.or.jp/publications/tabid/73/Default.aspx>
- 横浜市 読書バリアフリー情報サイト <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/sonota/bokku/barrierfreetop.html>
- 『税金で買った本』1～13巻,ずいの//原作,系山岡//漫画,講談社,2021年-2024年(継続刊行中)
- J-STAGE>『情報の科学と技術 2018年68巻1号』一般社団法人情報科学技術協会 [https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jkg/68/1/\\_contents/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jkg/68/1/_contents/-char/ja)
- 城西大学水田記念図書館 <https://libopac.josai.ac.jp/tosho.htm#>
- NHK ドキュメント72時間>「金沢 大きな図書館で」 <https://www.nhk.jp/p/72hours/ts/W3W8WRN8M3/episode/te/RN23K569VR/>
- 『「まちライブラリー」の研究 「個」が主役になれる社会的資本づくり』磯井純充//著,みすず書房,2024年
- 内閣府>第5期科学技術基本計画 <https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index5.html>
- 『ライブラリー・リソース・ガイド(LRG) 第49号 2024年秋号』アカデミック・リソース・ガイド株式会社,2024年
- 三重県>「ひとが集まる学校図書館のつくりかた～県立学校図書館活性化指針～」 <https://www.pref.mie.lg.jp/SHABUN/HP/m0209600213.htm>
- 『司書が書く図書館員のおすすめ本』日図協図書紹介事業委員会//編,日図協,2021年
- 『Live!図書館員のおすすめ本 人はなぜ本を紹介するのか リマスター版』日図協図書紹介事業委員会//編,日図協,2024年

## 4-2 事例集等から見る動向

---

### ▶ 文部科学省>教育

#### ● >小学校、中学校、高等学校>学校図書館

『図書館実践事例集～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～[学校図書館]』,2020(令和2)年3月

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/dokusho/link/mext\\_00768.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/mext_00768.html)

#### ● >社会教育

『図書館実践事例集～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～[公共]』,2020(令和2)年3月

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/tosho/mext\\_01041.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/mext_01041.html)

#### ● >社会教育>図書館の振興

『図書館・書店等連携実践事例集』,2024(令和6)年6月 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/tosho/mext\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/mext_00001.html)

- ▶▶ 令和6年度文部科学省関係補正予算が成立(2024年12月17日)。同予算事業別資料集P.26「**図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業**」0.5億円の措置 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/yosan/r01/1420672\\_00009.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/yosan/r01/1420672_00009.htm)

## 4-3 日図協の見解・意見・要望から見る動向

---

### ▶ 日図協の見解・意見・要望

<https://www.jla.or.jp/demand/tabid/78/pageno/1/Default.aspx>

#### ▶▶ 6月 「著作権法施行令の改正案」に関する意見提出について

- e-govパブリックコメント>【結果公示案件】>結果概要「御意見に対する考え方」(文化庁) pp.1-2

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCM1040&id=185001371&Mode=1>

#### ▶▶ 11月 書店活性化のための課題(案)に対する意見提出について

- e-govパブリックコメント>【結果公示案件】>結果概要「パブリックコメントの結果について」(経済産業省) pp.9-12

<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/1040?CLASSNAME=PCM1040&id=595224033&Mode=1>

#### ▶▶ 12月 公共図書館、学校図書館で働く会計年度任用職員の継続雇用についてのお願い

- 弁護士ドットコムニュース(2024年12月13日付)で紹介 [https://www.bengo4.com/c\\_5/n\\_18234/](https://www.bengo4.com/c_5/n_18234/)

- 読売新聞(2024年12月14日付)で紹介

# 5-1 研修から見る動向

---

## ▶ 都道府県立図書館が実施する市町村の図書館職員向け研修

- 山形県図書館職員専門研修（レファレンス協同データベースの利活用編）

（山形県図書館協会事業,2024年11月実施,対面またはオンライン形式）

## ▶ 障害者サービス担当職員向け講座

（日図協と国立国会図書館の共催,2024年11月実施,オンライン形式）

- 日図協障害者サービス委員会

<https://www.jla.or.jp/portals/0/html/lsh/2024kansai.html>

- 国立国会図書館

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual-kouza.html>

# 5-1 研修から見る動向

【修了条件を満たした場合は**修了証書**の交付がある研修】

▶①文部科学省図書館地区別研修

▶▶主な対象：図書館法第2条に規定する図書館に勤務する司書で、勤務経験が概ね通算**3年以上**

●北海道立図書館>令和6年度図書館地区別（北日本）研修（対面またはオンライン形式）

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/news/qjids000000fmm.html>

▶②社会教育実践研究センター図書館司書専門講座（オンライン+対面形式）

▶▶主な対象：図書館法第2条に規定する図書館に勤務する司書で、勤務経験が概ね通算**7年以上**で指導的立場にある者【**要推薦**】

●国立教育政策研究所>社会教育実践研究センター [https://www.nier.go.jp/jissen/training/r06/shisyo\\_kouza.html](https://www.nier.go.jp/jissen/training/r06/shisyo_kouza.html)

▶③中堅職員ステップアップ研修（1）／④中堅職員ステップアップ研修（2）【※（1）（2）ともに有料・オンライン形式】

▶▶（1）対象：司書・司書資格取得後、図書館勤務経験**3年以上**

▶▶（2）主な対象：同上**7年以上**、かつ上記①・②・③の研修**いずれかを修了**（※過去3年で所定の条件を満たした場合も対象）

●日図協>研修事業委員会 <https://www.jla.or.jp/committees/kenshu/tabid/188/Default.aspx>

# 5-1 研修から見る動向

---

## ▶ 関連団体の研修・講座（民間資格）

### ● ビジネスライブラリアン講習会【※有料,第24回は募集締め切り済】

（ビジネス支援図書館推進協議会,2024年12月～2025年3月開催,対面+オンライン・オンデマンド形式）

<https://www.business-library.jp/category/activity/subcommittee/blcourse/>

### ● JPIC読書アドバイザー養成講座【※有料,第31回は募集締め切り済】

（一般財団法人出版文化産業振興財団,2024年8月～2025年3月開催,対面形式）

<https://www.jpic.or.jp/advice/#corner-nav>

### ● 絵本専門士養成講座【※有料,第11期は全日程終了】

（国立青少年教育振興機構,2024年6月～2025年1月開催,対面形式）

<https://www.niye.go.jp/services/ehon.html>

## 5-2 大会から見る動向

---

### ▶各都道府県で開催される大会

- 第44回山形県図書館研究大会 大会テーマ「本でつながる まちの文化拠点に!!図書館と書店 共存共栄から共創へ」  
(山形県図書館協会・山形県読書推進運動協議会・最上地区図書館(室)協議会の主催,2024年10月,会場形式)

新庄市>第44回山形県図書館研究大会 <https://www.city.shinjo.yamagata.jp/s024/010/202408.06.html>

一般財団法人出版文化産業振興財団>書店・図書館等関係者における対話の場のまとめについて

<https://www.jplic.or.jp/topics/2024/04/01/140825.html>

### ▶日図協>全国図書館大会 <https://www.jla.or.jp/rally/tabid/400/Default.aspx>

### ▶日図協>公共図書館部会>全国公共図書館研究集会

<https://www.jla.or.jp/divisions/koukyo/tabid/272/Default.aspx>

- 『ライブラリー・リソース・ガイド(LRG) 第48号 2024年夏号』アカデミック・リソース・ガイド株式会社,2024年

# 5-3 認定司書事業から見る動向



Certified  
Professional  
Librarian

**日本図書館協会**

**認定司書**

申請受付期間  
11月1日～11月30日

## 「認定司書」とは

司書の専門性の向上に不可欠な図書館の実務経験、実践的知識・技能を継続的に修得した方を、公立図書館や私立図書館の経営の中核を担う司書として、日本図書館協会が公的に認定する制度です。  
この制度は、司書全体の研鑽努力を奨励し、司書職のキャリア形成や社会的認知の向上に資することを目的としています。また、十分な知識・技能と意欲をもって図書館に勤務する司書の継続的かつ安定的な雇用が確保され、わが国の図書館全体の振興につながることを期待されています。

## 1 認定要件

- ① 公共図書館（図書館法第2条に定める図書館）に現在あるいは過去勤務していた方。
- ② 図書館法第4条に定める司書又は司書有資格者。
- ③ 勤務経験：以下のア、いずれも満たしていること。  
ア 公共図書館（図書館法第2条に定める図書館）における勤務経験の合計が、司書資格を取得した日から10年以上であること。又は司書資格を取得した日から公共図書館、公共図書館以外の図書館、他の職種機関の勤務経験の合計が10年以上であること。  
イ 申請時において過去10年間のうち少なくとも5年は公共図書館における勤務経験を有すること。
- ④ 申請時までの10年間に研修受講、社会的活動等、一定の研鑽（20ポイント以上）を重ねていること。
- ⑤ 申請時までの10年間に一定の要件を満たす著作（8,000字以上）を著していること。
- ⑥ 申請時までの10年間に「図書館員の倫理綱領」を遵守していること。

## 2 申請から認定まで（第15期）

- ・ 申請要項は、図書館雑誌10月号に掲載しますので、確認の上ご申請ください。
- ・ 審査（申請書類）→申請受付期間2024年11月1日から30日まで
- ・ 2025年4月に認定証交付、認定司書名簿に記載・公表
- ・ 認定された認定司書の名簿と審査報告は『図書館雑誌』毎年5月号に掲載されています。
- ・ 認定証の有効期間は10年（2025年4月1日から2035年3月31日）。更新希望者は有効期間内に認定更新の審査を受けます。

## 3 審査会の構成

審査は認定司書審査会が行います。

第15期審査会構成（50首順）

委員：

- 秋本 敏（元ふじみ野市立図書館長）
- 糸賀 雅児（慶應義塾大学名誉教授、元中央教育審議会生涯学習分科会委員）
- 植田 佳宏（松山大学文学部准教授、元広島県立図書館館長）
- 大谷 康晴（認定司書事業委員会委員長、青山学院大学コミュニケーション学部教授）
- 西海 沙織（筑波大学副学長・附属学校教育局長、図書館情報メディア系教授）
- 鎌水三千男（元千葉県総務部政策法務課政策法務室長）

## 4 審査費用

- ・ 審査料：7,500円
- ・ 認定料：協会個人会員20,000円、協会非会員110,000円

司書のキャリア形成や社会的認知の向上をめざす  
「認定司書」に申請を！！ 認定更新も同時受付中

認定司書



<https://www.jla.or.jp/nintei/>



(2024.9)

## 【引用・出典・参考資料】

### ● 日図協認定司書事業委員会

<https://www.jla.or.jp/committees/nintei/tabid/382/Default.aspx>

### ● 『図書館雑誌 2024年2月号,5月号,9月号』日図協,2024年

### ● 『地方自治と図書館』片山善博・糸賀雅児//著,勁草書房,2017年

### ● 『認定司書のたまてばこ～あなたのまちのスーパー司書～』

砂生絵里奈//編著,郵研社,2017年

### ● 『認定司書論文のたまてばこ～図書館論文がスラスラ書ける!～』

砂生絵里奈//編著,郵研社,2019年

### ● 『Cul De La 6号』

一般社団法人日本カルチャーデザイン研究所,2024年



一般社団法人  
とらいあ

# 6 終わりに

## 法人概要

### OUTLINE



人に、まちに、学び場を。日々に豊かさを。  
一般社団法人 とらいあ

名称 一般社団法人 とらいあ  
設立 2010年(H22)年 9月  
代表理事 笹原啓一(ささはら けいいち)  
所在地 〒996-0027 山形県新庄市本町1-7  
連絡先 TEL/FAX 0233-29-8150

### 目的 MISSION

豊かな生涯学習社会を促進し  
持続可能な社会づくりに貢献します

### 目標 VISION

図書館や雪の里情報館をはじめとする公共施設の  
管理運営事業等を中心に学びのネットワークを推進します



### 価値 VALUE

- つなぐ ● 家庭・学校・地域の笑顔をつなぐチャレンジャー
- 対話 ● 対話的学びで築くチーム力・地域力
- 創造 ● 誰一人取り残さない社会の創造



一般社団法人  
とらいあ

# 6 終わりに

## とらいあの由来

ROOTS

- トライアングル 家庭、学校、地域の学びのネットワークを表現。  
連携・協働の三角形。三方良し。
- トゥライア TRYの関連語。挑戦する人、努力する人の意。  
地域のために常に努力することを忘れない。

## シンボルマーク

SYMBOL MARK

10種類のモデルは色々な形、カラーは「人」を表し、集合(コミュニティ)が  
すなわち「まち」を意味する。10という数は、最上8市町村の人と行政、とらい  
あ、そして最後のひとつは貴方(自分)。10のモデルを組み上げると「TRYA(と  
らいあ)」が出来上がり、個性はバラバラであっても集まることで無限の可能性  
が生まれるという意味が込められている。



人に、まちに、学び場を。日々豊かさを。  
一般社団法人 とらいあ

〒996-0027 山形県新庄市本町1-7  
TEL/FAX 0233-29-8150  
メール toraia@ic-net.or.jp



とらいあ



一般社団法人  
とらいあ

# 6 終わりに

## とらいあのあゆみ

### HISTORY

★ 現在継続中

2006年(H18)

4月 ● 市立図書館一部業務委託検討会議

2007年(H19)

2月 ● 市民ネットワーク図書館サポートとらいあ設立

4月 ● 新庄市立図書館一部業務委託開始  
● 市民参画協働のまちづくり

2009年(H21)

4月 ● 新庄市立図書館指定管理者事業★

5月 ● 新庄市学校図書館支援事業  
(2009年～2016年まで5年間継続)

2010年(H22)

9月 ● 一般社団法人とらいあ設立



一般社団法人  
とらいあ

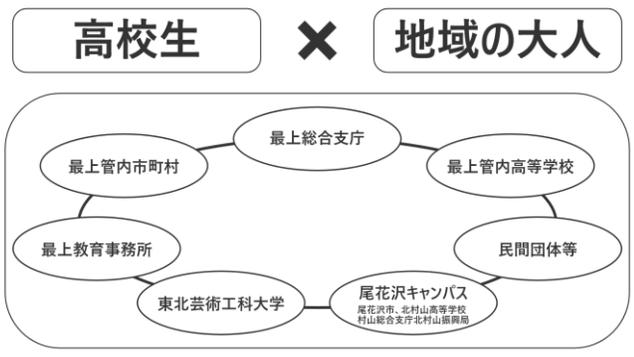
# 6 終わりに

- 2010年(H22)  
9月 ● 一般社団法人とらいあ設立
- 2012年(H24)  
4月 ● 山形県緊急雇用創出事業(資料整理員)  
〈2012年~2014年の2年間〉
- 2016年(H28)  
4月 ● 新庄市史料写真デジタルデータ事業  
〈2016年~2017年の2年間〉
- 2017年(H29)  
3月 ● 新庄市学校図書館蔵書検索システム  
ライブラリーサーチ運用開始
- 4月 ● 最上地域理解プログラム助成金事業★  
〔2019年 新庄・最上ジモト大学コンソーシアム  
事務局業務として名称変更〕
- 2020年(R2)  
4月 ● 雪の里情報館指定管理事業★



一般社団法人  
とらいあ

# 6 終わりに



雪の里情報館 <http://yukinosato.jp/>  
Shinjo・mogami ジモト大学 <http://jimoto-univ.com/>

山形県立新庄病院ブログ 2023年7月4日付  
<https://shinjo-resident.jp/weblog/17698/>



## 6 終わりに



新庄市立図書館「しんじょう観光大使・今村翔吾氏 第166回直木賞受賞記念展示」



2022年に有言実行!「今村翔吾のまつり旅」の愛車「たび丸号」。47都道府県118泊119日を回った旅のゴール後は、今村氏より新庄市に寄贈された車を、図書館まつりの当日に特別展示。

参考資料:新庄市HP>【今村翔吾のまつり旅The Final in 新庄】開催!

<https://www.city.shinjo.yamagata.jp/s022/30/010/20220815102140.html>



## 6 終わりに

郷土を愛し市民と共に

次世代につながる図書館

「本・人・歴史・情報」

未来へつなげる!



人に、まちに、学び場を。日々に豊かさを。

一般社団法人 とらいあ





## 6 終わりに

- **新庄市HP>市立図書館** <https://www.city.shinjo.yamagata.jp/li/030/020/020/index.html>
- **新庄市立図書館 とらいあ (指定管理者) Facebook** <https://www.facebook.com/shinjolib>
- **図書館公式 Instagram** [https://www.instagram.com/library\\_shinjo?igsh=NmowcWx4dnB2Ynhr](https://www.instagram.com/library_shinjo?igsh=NmowcWx4dnB2Ynhr)
- **(一社)とらいあ** <https://toraia.wixsite.com/toraia>
- **(一社)とらいあ Facebook**  
[https://www.facebook.com/profile.php?id=100064667053263&locale=ja\\_JP](https://www.facebook.com/profile.php?id=100064667053263&locale=ja_JP)
- **IRI知的資源イニシアティブ>「Library of the Year 2024 第一次選考会の結果を発表します」**  
<https://www.iri-net.org/loy/loy2024-first-result/>
- **りぶしる>リレートーク (2024年2月13日付,同3月1日付)**  
<https://www.libsil.library.ne.jp/category/relaytalk/>

# ご清聴ありがとうございました

新庄市立図書館「クラゲ水槽展示」  
山間の雪国でクラゲを10年常設飼育する全国唯一の公共図書館  
(Special Thanks to「加茂水族館でボランティアをしている  
現在公民館館長の先生」)



参考資料：『図書館からのメッセージ@Dr.ルイスの“本”のひととき』内野安彦//著, 郵研社, 2017年  
pp.31-35 「図書館で本物のクラゲを楽しむ」